

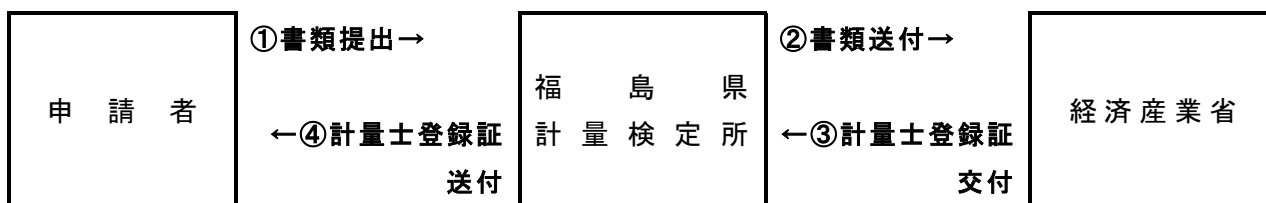
計量士の登録申請について

計量士として、計量法上の職務を行うためには、計量士の区分ごとに経済産業大臣の登録を受けなければなりません。

計量士の登録を申請する方は、申請書類を福島県計量検定所に提出してください。

本所へ提出された書類は、経済産業省計量行政室へ送付します。経済産業省では、送付された書類を審査のうえ計量士登録証を作成し、本所を経由して申請者あてに送付することになっています。

【書類のながれ】



1 計量士国家試験に合格している方

(1) 全ての計量士の区分で提出する書類

書類名	提出部数	備考
計量士登録申請書 (様式第66)	1部	収入印紙30,000円分を貼ること。(消印しないこと)
別紙様式	1部	福島県計量検定所のwebサイトから入手できます
国家試験合格証の写し	1部	。

(2) 計量士の区分ごとの提出書類

計量士の区分	提出部数	提出書類
環境計量士(濃度関係)	右のうち いずれか 1部	1 計量に関する実務の証明書 2 環境計量講習(濃度関係)の修了証書の写し 3 薬剤師免許証の写し 4 職業訓練指導員免許証(化学分析科)の写し 5 職業能力開発校(化学系化学分析科)修了証書の写し 6 技能検定のうち検定職種が化学分析(1級又は2級)又は産業洗浄(実技試験の科目が化学洗浄作業)合格証書の写し 7 技術士(衛生工学部門)登録証の写し

計量士の区分	提出部数	提出書類
環境計量士（騒音・振動関係）	右のうち いずれか 1部	1 計量に関する実務の証明書 2 環境計量講習（騒音・振動関係）の修了証書の写し 3 職業訓練指導員免許証（公害検査科）の写し 4 職業能力開発校（化学系公害検査科）修了証書の写し 5 技術士（物理及び化学を選択科目とする応用理学部門に係る本試験に合格した者）登録証の写し
一般計量士	1部	計量に関する実務の証明書

※「計量に関する実務の証明書」は、申請者が実際に使用した計量器、測定した具体的内容及び従事した期間並びに指導内容等を明確に記載し、その実務に従事した事業所の代表者の証明を受けたものです。

なお、「計量に関する実務」とは、計量士登録を申請する本人が実際に従事することをいい、組織上等形式的に計量管理を統括している場合は含みません。

2 計量行政審議会の資格認定を受けている方

環境計量士（濃度関係）
 環境計量士（騒音・振動関係）
 一般計量士

の登録申請に添付する書類

書類名	送付部数	備考
計量士登録申請書 （様式第66）	1部	収入印紙30,000円分を貼ること。（消印しないこと）
別紙様式	1部	福島県計量検定所のWebサイトから入手できます。
計量士資格認定証の写し	1部	

書類の提出先

〒960-8670

福島市杉妻町2-16 福島県計量検定所 指導課

電 話 024-521-7655

F a x 024-521-7978

電子メール keiryu@pref.fukushima.lg.jp

- 書類は折曲厳禁です。また、郵送で提出される場合は、簡易書留で送付くださるようお願いいたします。
- 計量士登録の申請について、御不明な点等がありましたら上記まで御連絡ください。
- 書類の提出にあたり、提出前に記載内容等の確認を希望される場合は、事前に御連絡をお願いします。

計量士登録申請書（国家試験合格の場合） 記入の見本

様式第66（第54条関係）

計量士登録申請書

収入印紙

収入印紙3万円分を貼付。
消印しないこと。

福島県への提出年月日を記載

〇〇年〇〇月〇〇日

経済産業大臣 殿

申請者 住所 福島県〇〇市△△町1-2-3
氏名 計量 太郎

次のとおり、計量士の登録を受けたいので、申請します。

申請者の住所及び氏名を記載すること。
押印の必要はありません。

- 1 登録の区分 別紙のとおり
- 2 生年月日 別紙のとおり
- 3 最終学歴及び勤務先 別紙のとおり
- 4 計量士国家試験に合格した者にあつては、合格年月日及び合格証書番号
別紙のとおり
- 5 計量法第122条第2項第2号の規定により計量行政審議会が認定した者にあつては、認定年月日及び認定証番号
別紙のとおり
- 6 一般計量士の登録を受けようとする者にあつては計量に関する実務に従事した期間及びその実務の内容、環境計量士（濃度関係）又は環境計量士（騒音・振動関係）の登録を受けようとする者（環境計量講習（濃度関係）又は環境計量講習（騒音・振動関係）を修了した者を除く。）にあつては、環境計量（濃度関係）又は環境計量（騒音・振動関係）に関する実務に従事した期間及びその実務の内容
〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇年〇〇カ月）
株式会社〇〇〇〇における〇〇〇〇の実務
- 7 旧姓併記の有無 有・無

実務の証明書を添付する場合に記載してください。

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 申請書には、登録免許税の領収証書又は当該登録免許税の額に相当する額の収入印紙をはること（登録免許税の領収証書にあつては、申請書の裏面にはること）。
- 3 旧姓併記を希望する場合は、別記様式の氏名欄に「現姓（旧姓）名前」と記載すること。

計量士登録申請書（資格認定の場合） 記入の見本

様式第66（第54条関係）

計量士登録申請書

収入
印紙

収入印紙3万円分を貼付。
消印しないこと。

福島県への提出年月日を記載

〇〇年〇〇月〇〇日

経済産業大臣 殿

申請者 住所 福島県〇〇市△△町1-2-3
氏名 計量 太郎

次のとおり、計量士の登録を受けたいので、申請します。

申請者の住所及び氏名を記載すること。
押印の必要はありません。

- 1 登録の区分 別紙のとおり
- 2 生年月日 別紙のとおり
- 3 最終学歴及び勤務先 別紙のとおり
- 4 計量士国家試験に合格した者にあつては、合格年月日及び合格証書番号
別紙のとおり
- 5 計量法第122条第2項第2号の規定により計量行政審議会が認定した者にあつては、認定年月日
及び認定証番号
別紙のとおり
- 6 一般計量士の登録を受けようとする者にあつては計量に関する実務に従事した期間及びその実務
の内容、環境計量士（濃度関係）又は環境計量士（騒音・振動関係）の登録を受けようとする者（環
境計量講習（濃度関係）又は環境計量講習（騒音・振動関係）を修了した者を除く。）にあつては、
環境計量（濃度関係）又は環境計量（騒音・振動関係）に関する実務に従事した期間及びその実務の
内容
〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇年〇〇カ月）
ただし、〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月までと、〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月までの計量
教習期間の5か月間は除いている。
株式会社〇〇〇〇における〇〇の実務
- 7 旧姓併記の有無 有・無

計量教習期間が除かれていることがわかる
よう、ただし書きを記載すること。

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 申請書には、登録免許税の領収証書又は当該登録免許税の額に相当する額の収入印紙をはる
こと（登録免許税の領収証書にあつては、申請書の裏面にはること）。
- 3 旧姓併記を希望する場合は、別記様式の氏名欄に「現姓（旧姓）名前」と記載すること。

別紙様式 記入の見本

次の該当する区分を記載すること
 環境計量士（濃度関係）
 環境計量士（騒音・振動関係）
 一般計量士

別紙様式

登録の 区 分	注1 環境計量士 (濃度関係)	登録 番号	※ 注2 この欄は記載しないこと	
登録の 年月日	※ 注2 この欄は記載しないこと			
ふりがな 氏 名	けい りょう た ろう 計 量 太 郎	生年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日生	
住 所	福島県〇〇市△△町1-2-3		どちらかを○で囲むこと	
合格年月日又は認定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日(合格・認定)		
最終学歴	備考 注3 環境計量講習(濃度関係)修了 第〇〇〇号			
勤務先	環境計量特別教習を受講 した場合は、その内容を記 入すること。			
〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部〇〇科卒業	〇〇年〇〇月 株式会社□□□入社 現在に至る		合格証書 番 号	第〇〇号 認定証 番 号

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする
- 2 ※印は、記入しないこと。

実務の証明書（環境計量士（濃度関係）） 記入の見本

計量士登録申請に係る実務の証明書

1 申請者 (ふり がな) 氏 名 けいりょう たろう 計量 太郎
 生年月日 ○○年○○月○○日

2 従事した事業所等
 所在地 福島県○○市○○1-2
 勤務先名 株式会社○○○○
 事業登録等 計量証明事業登録（濃度）を受けている。

勤務した事業所が計量証明事業等の登録を受けている場合に記載すること。

3 実務期間 ○○年 ○ヶ月
 ○○年○○月○○日 ～ ○○年○○月○○日

4 実務内容

該当基準	実 務 の 内 容	従事期間
計量に関する実務 別表第一 第○項の ○	1 計量管理の実務 ①ガラス電極式水素イオン濃度計、隔膜電極式溶存酸素濃度計、隔膜電極式溶存酸素濃度計、原子吸光分析計を使用した環境水質試料の濃度に係る測定及び分析の実務 ②上記計量器の日常点検及び校正 2 計量管理の指導の実務 計量管理の知識の向上に関する業務	○○年○月○日から ○○年○月○日まで （○○年○ヶ月）

以上のとおり相違ないことを証明します。

平成○○年○○月○○日

住 所 福島県○○市○○1-2
 事業所名 株式会社○○○○
 代表者 代表取締役 ○○○○ ㊟

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 実務の内容については、詳細に記載すること。

実務の証明書（環境計量士（騒音・振動関係）） 記入の見本

計量士登録申請に係る実務の証明書

1 申請者 (ふり がな) 氏 名 けいりょう たろう 計量 太郎
 生年月日 ○○年○○月○○日

2 従事した事業所等
 所在地 福島県○○市○○1-2
 勤務先名 株式会社○○○○
 事業登録等 計量証明事業登録（騒音・振動）を受けている。

勤務した事業所が計量証明事業等の登録を受けている場合に記載してください。

3 実務期間 ○○年 ○ヶ月
 ○○年○○月○○日 ～ ○○年○○月○○日

4 実務内容

該当基準	実務の内容	従事期間
計量に関する実務別表第一第○項の○	1 計量管理の業務 ①普通騒音計及び精密騒音計及び振動レベル計による騒音・振動の測定。 ②上記計量器の日常点検及び校正 2 計量管理の指導業務 計量管理の知識の向上に関する業務	○○年○月○日から ○○年○月○日まで （○○年○ヶ月）

以上のとおり相違ないことを証明します。

平成○○年○○月○○日

住 所 福島県○○市○○1-2
 事業所名 株式会社○○○○
 代表者 代表取締役 ○○○○ Ⓜ

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 実務の内容については、詳細に記載すること。

実務の証明書（一般計量士用） 記入の見本

計量士登録申請に係る実務の証明書

- 1 申請者 (ふり がな) 氏 名 けいりょう たろう 計量 太郎
 生年月日 ○○年○○月○○日
- 2 従事した事業所等
 所在地 福島県○○市○○1-2
 勤務先名 株式会社○○○○
 事業登録等 適正計量管理事業所の指定を受けている。
- 3 実務期間 ○○年 ○ヶ月
 ○○年○○月○○日 ～ ○○年○○月○○日

勤務した事業所が適正計量管理事業所等の登録を受けている場合に記載してください。

4 実務内容

該当基準	実務の内容	従事期間
計量に関する実務別表第二第○項	1 計量管理の実務 ①一般計量士○○○○（計量士登録番号第○○○号）による、電気抵抗線式はかり及び電磁式はかりの定期検査業務の補助 ②検査設備の管理に関する業務 2 計量管理の指導の実務 計量管理の知識の向上に関する業務	○○年○月○日から ○○年○月○日まで （○○年○ヶ月）

以上のとおり相違ないことを証明します。

平成○○年○○月○○日

住 所 福島県○○市○○1-2
 事業所名 株式会社○○○○
 代表者 代表取締役 ○○○○ ⑨

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 実務の内容については、詳細に記載すること。